



2018年9月28日

各 位

上 場 会 社 名 日本プロセス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 上石 芳昭
 (コード番号：9651)
 問合せ先責任者 取締役財務統括 坂巻 詳浩
 (TEL：03-5408-3351)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2018年7月6日に公表いたしました2019年5月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年5月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2018年6月1日～2018年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,200	百万円 190	百万円 210	百万円 140	円 銭 14.45
今回修正予想（B）	3,200	230	250	198	20.24
増減額（B－A）	0	40	40	58	
増減率（%）	0.0%	21.1%	19.0%	41.4%	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2018年5月期第2四半期）	2,987	320	342	168	17.17

2. 2019年5月期通期連結業績予想数値の修正（2018年6月1日～2019年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,690	百万円 460	百万円 500	百万円 330	円 銭 34.07
今回修正予想（B）	6,690	460	500	360	36.70
増減額（B－A）	0	0	0	30	
増減率（%）	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	
（ご参考）前期実績 （2018年5月期）	6,289	512	579	314	31.88

3. 修正の理由

全社的に受注環境が堅調に推移しており、技術者の稼働率が高い状況にあることに加え、プロジェクト管理の強化などにより生産性の向上が図られました。また、株式会社アルゴリズム研究所を2018年6月に子会社化したことに伴い、負ののれん30百万円を特別利益に計上したことから、第2四半期累計期間の見通しについては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が、公表値を上回る見込みとなりました。

なお、通期の見通しにつきましては、事業環境の変化による業績への影響が不透明なため、現段階におきましては、負ののれん計上に伴う影響のみの修正とし、今後の市況や業績動向等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

(参考)個別業績の予想

1. 2019年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2018年6月1日~2018年11月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,120	百万円 200	百万円 130	円 銭 13.41
今回修正予想(B)	3,120	240	158	16.16
増減額(B-A)	0	40	28	
増減率(%)	0.0%	20.0%	21.5%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年5月期第2四半期)	2,987	342	169	17.18

2. 修正の理由

連結業績予想数値の修正の理由に記載のとおり、全社的に受注環境が堅調に推移しており、技術者の稼働率が高い状況で推移していることに加え、プロジェクト管理の強化などにより生産性の向上が図られていることから、第2四半期累計期間の見通しについては、経常利益、四半期純利益が、公表値を上回る見込みとなりました。

なお、通期の見通しにつきましては、事業環境の変化による業績への影響が不透明なため、今後の市況や業績動向等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

- ※ 業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

以上